



第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会

旭実女子バレー

31年ぶり準決勝進出

全国3位

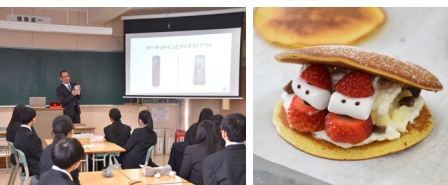


1月4日(木)より行われた「春の高校バレー(全日本バレーボール高等学校選手権大会)」(東京体育館)において女子バレーボール部は準々決勝で昨年の高校総体準優勝校である東京都市大塩尻高校(長野)に2対1で勝利し、31年ぶりの準決勝進出を果たしました。準決勝では昨年の高校総体と国体の優勝校である



北海道立正学園
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校HP

商業科 スイーツ開発 特別講座



【春の高校バレー2024 試合結果】					
2回戦	2	25 - 21 25 - 20	0	済美(岐阜)	
3回戦	2	25 - 23 21 - 25 25 - 16	1	大阪国際滝井・大坂国際(大阪)	
準々決勝	2	25 - 8 23 - 25 25 - 19	1	都市大塩尻(長野)	
準決勝	0	18 - 25 14 - 25 24 - 26	3	下北沢成徳(東京)	

下北沢成徳高校と対戦し、0対3で敗れました。決勝進出とまではいきませんでした。堂々の3位入賞となりました。

主将 笠井季璃さん(普3・別海中)「たくさんの方の応援ありがとうございました。」

商業科では毎年、(株)壺屋総本店のご協力のもとで「スイーツ開発」を行い、「旭実フェスティバル」や「食ペマルシェ」等でスイーツを販売しています。その事前学習として、2年生を対象に1月16日(火)1~6時間目に、(株)壺屋総本店取締役社長の村本暁宣様(本校OB)を講師にお招きして、スイーツ開発に必要なマーケティング

1月18日(木)~20日(土)、よつ葉アリーナ十勝(帯広市)において「第52回全国高等学校選抜バドミントン大会北海道予選会」が行われました。男子団体は決勝戦で帯広大谷高校と対戦、3対1で勝利し4年連続18回

ございました。自分たちは一年間日本一という目標を掲げて毎日の練習を積み重ねてきました。結果としては残念ながら達成することはできなかったのですが、何か大切なものを得ることができた気がします。これからの旭川実業の応援よろしく願います。」

グや賞味期限、原価計算などについてお話しをいただきました。また、実際に調理実習を行い、生徒たちは事前に企画していたクッキー・どら焼きベースのスイーツをつくりあげました。

【試合結果】
学校対抗 男子団体 優勝(4年連続18回目)、女子団体 準優勝
男子ダブルス 川田光太(普2・愛宕中)・中塩爽太(普2・愛宕中)組 優勝、男子シングルス 中

バドミントン男子
全道団体・単・複 優勝

機械システム科
イルミネーション設置

機械システム科3年生の課題研究の授業でイルミネーションを設置しました。今年は第二校舎の2階玄関に装飾を施しました。遠くからでもよく見え、夜間の癒しと

3年生 卒業献血
11月20日(月)・12月7日(木)の2日間、毎年恒例となった3年生の「卒業献血」が行われました。「卒業献血」は3年生を対象に医療へのボランティアとして、血液が不足するこの年末の時期に実施されています。2日間で100名以上の生徒が献血に協力しました。

なっています。
1月25日(木)には、課題研究での活動内容を2年生に向けて発表します。

塩爽太 優勝、川田光太 準優勝、女子シングルス 杉野冬花(普1・帯広第一中) 準優勝
主将・川田光太さん「私たちバドミントン部は全国選抜北海道予選会で男子の団体、ダブルス、シングルスすべてで優勝し3冠を獲得することができました。全国大会は1つでも多く勝ち上がれるようにさらにレベルアップして挑みたいと思います。全国ベスト4を目標に頑張りますので、応援よろしくお願います。」

イルミネーション設置

